

## 令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料一覧表

頁	事業名	予算額(千円)
1	市制50周年記念事業	19,872
4	☆ 証明書コンビニ交付サービス事業	2,849
5	尾張北部権利擁護支援センター運営事業	27,393
6	☆ 人間ドック費用助成事業	5,714
7	☆ 私立保育園整備費補助事業	64,496
8	☆ 80歳節目歯科健康診査事業	344
9	☆ 新型コロナウイルスワクチン接種事業	150,778
10	☆ 環境基本計画策定事業	4,294
12	シティプロモーション事業(市制50周年記念映像作成)	5,368
13	地域産業活性化支援事業	3,540
14	夏まつり市民盆おどり事業	4,700
15	五条川桜並木保全事業	10,784
16	企業庁土地開発関連事業	52,173
17	名鉄石仏駅等整備事業	34,614
18	桜通線街路改良事業	66,437
19	石仏公園整備事業	45,380
20	夢さくら公園整備事業	5,764
21	消防指令センター共同運用事業	42,823
22	☆ 消防庁舎施設改良事業	935
23	土曜学習等事業	551
24	岩倉北小学校屋内運動場等複合施設建設事業	60,483
26	水泳指導支援委託事業	6,838
27	☆ 図書館・市民プラザ駐車場改修事業	3,541
28	下田南遺跡発掘調査事業	75,097
29	☆ 「(仮称)いわくらしや水」製造事業(上水道事業会計)	2,356
30	☆ 漏水調査実施事業(上水道事業会計)	3,349
31	基幹管路耐震化事業(上水道事業会計)	120,000
32	五条川右岸公共下水道建設事業(公共下水道事業会計)	292,308

### 28事業

注： ☆印は新規事業(令和2年度当初予算時比較)

## 令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	市制 50 周年記念事業			担当課	秘書企画課
事業実施期間	令和元年度～3年度	款	2	項	1	目	4
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
1,191千円	1,046千円	58千円			千円		
<b>令和3年度 予算額</b>	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
19,872千円	300			19,572			

### ○事業の目的・効果

昭和46年12月1日の市制施行後、令和3年12月1日に市制施行50年を迎えるにあたり、市制50周年記念事業基本方針に示した基本理念、基本方針に沿った事業を、年間を通して実施する。

これらの事業展開を通して、50周年という大きな節目を市民全体で祝うとともに、本市の礎を築いてきた先人たちのたゆまぬ努力、その功績を見つめ直し、このまちに愛着を持ち、誇りに思う機会とし、その思いが、未来のいわくらを築いていく次世代につながっていく。

### ○事業の内容

#### 1 『市民の夢 <sup>かな</sup> 協えるプロジェクト』

令和2年度に公募した「市実施事業コース」と「委託事業コース」に応募のあった多くの事業の中から採用された事業を実施する。

##### 【市実施事業コース】

##### (1) いわくら今昔WEB写真館

市民から公募して過去から現在までの岩倉の写真を集め、市で保有している写真も含め、それを年代別、場所ごとなどに分け、インターネット上で閲覧できるようにする。

##### (2) いわくら写真えほんの作成

岩倉の名所を背景に希望する市民の笑顔の写真を掲載した写真絵本を作成する。

##### (3) 岩倉国際交流まつり

外国人居住者が人口の5%を占める岩倉市の特徴を活かし、外国の食や文化を通じて他国への親しみを醸成し、イベントを通じて日本人と外国人の交流を促す。

##### (4) 巨大プラレールを作りたい

家ではできないような巨大プラレールを市民参加で作りあげ、完成後に自分所有のプラレールを走らせる。

※上記事業については、提案者の意図を尊重するとともに、岩倉市制50周年記念事業審査会での意見等を踏まえ、実施に向けて検討を進める。

##### 【委託事業コース】

##### (1) おしごと体験 in 岩倉市

市内の小学生を対象に市内事業所ブースによるお仕事体験を通して仕事への興味を生み出すとともに、保護者の市内事業所の認知につながる事業。

##### (2) オール岩倉産『至極の卵かけごはん ～いわくらTKG～』

既に関産された「オール岩倉産『至極の卵かけごはん ～いわくらTKG～』」をPRする誕生記念イベントの開催、市内飲食店でのメニュー化、認知度向上をめざして取り組む事業。

(3) 五条川かわまちプロジェクト ～ミズベの魅力発信～

五条川の水辺の過去から今につながるまちづくりの歴史、そしてそれを未来につなげることをコンセプトに五条川の過去・現在・未来について広く市内外の人に伝える事業。

2 『いわくら名産品（お土産）開発事業』

岩倉を訪れた人がお土産として購入したくなる新しい名産品を開発する。

名産品として採択された10品程度の名産品の開発費を補助するとともに、商品開発に詳しい専門家等と契約を結び、名産品開発に取り組む事業所に助言等を行う。また、要件を満たした既存品を名産品として認定し、開発した名産品と合わせてパンフレットやホームページ等により積極的にPRを行う。

3 『夢さくら公園利用促進イベント』

令和2年度に整備した夢さくら公園が地元にも愛され、多くの市民に親しまれる公園となるように、健康イベントやマルシェを中心とした利用促進事業を実施する。

4 『ギネス世界記録に挑戦』

市民参加により、市制50周年を盛り上げ、シビックプライドと市民の一体感を醸成する事業として岩倉らしいギネス世界記録に挑戦する。

5 『市制50周年記念誌作成』

岩倉市のこれまでの歴史を振り返るとともに、市制50周年を迎え岩倉市の魅力や伝統、市民憲章等、市民との協働によるまちづくりを市内外の人に知ってもらう資料となるように記念誌を作成する。

## ○積算根拠

### 【歳出】

1 『市民の夢<sup>かな</sup> 協えるプロジェクト』

市民の夢協えるプロジェクト事業委託料 6,669千円

いわくら今昔WEB写真館 1,518,000円

いわくら写真えほんの作成 1,261,000円

岩倉国際交流まつり 1,000,000円

巨大プラールを作りたい 1,000,000円

おしごと体験 in 岩倉市 1,000,000円

オール岩倉産『至極の卵かけごはん ～いわくらTKG～』 420,000円

五条川かわまちプロジェクト～ミズベの魅力発信～ 470,000円

2 『いわくら名産品（お土産）開発事業』

印刷製本費 200千円

いわくら名産品紹介パンフレット 200,000円

いわくら名産品開発支援業務委託料 550千円

いわくら名産品開発費補助金 2,000千円

いわくら名産品販売会場使用料 80千円

3 『夢さくら公園利用促進イベント』

夢さくら公園記念イベント委託料 1,000千円

4 『ギネス世界記録に挑戦』

ギネス世界記録挑戦サポート委託料 2,090千円

5 『市制 50 周年記念誌作成』

市制 50 周年記念誌作成業務委託料 5,500 千円

6 『共通・その他』

市制 50 周年記念事業審査会委員報酬 105 千円

20,000 円× 1 人×3 回=60,000 円

5,000 円× 3 人×3 回=45,000 円

消耗品費 878 千円

市制 50 周年記念カリグラフィカルーム切手 1,260 円×300 セット=378,000 円

その他 500,000 円 (記念事業スタンプラリー、ギネス世界記録挑戦事業、NHK 公開放送等)

印刷製本費 800 千円

(記念事業スタンプラリー、ギネス世界記録挑戦事業、NHK 公開放送等)

【歳入】

社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業) 300 千円

ふるさとづくり基金繰入金 19,572 千円

## 令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	証明書コンビニ交付サービス事業			担当課	市民窓口課	
事業実施期間	令和2年度～ 年度	款	2	項	3	目	1	
令和2年度		令和元年度			平成30年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
13,007千円	12,644千円	千円			千円			
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
2,849千円			400		751			1,698

### ○事業の目的・効果

証明書コンビニ交付サービス事業は、市民の負担軽減及び利便性の向上を図ることを目的としており、市役所の窓口に出向かず、非対面でマイナンバーカードを利用して証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書）を全国のコンビニエンスストア等のキオスク端末より取得できる。

住所地や勤務地等に近いコンビニエンスストア等において証明書を取得することにより、市役所の証明書交付窓口における混雑の緩和にもつながり、新型コロナウイルス感染症対策の観点からも有効な手段の一つである。

### ○事業の内容

マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニエンスストア等に設置されているキオスク端末で、午前6時30分から午後11時まで、住民票の写し及び印鑑登録証明書を取得できるサービスを実施する。（令和3年2月から実施済）

### ○積算根拠

#### 【歳出】

コンビニ委託手数料 234千円  
 $117円 \times 2,000件 = 234,000円$   
 コンビニ交付システム保守委託料 396千円  
 $33,000円 \times 12月 = 396,000円$   
 証明書交付センター運営負担金 2,219千円  
 2,218,741円

#### 【歳入】

戸籍謄抄本等発行手数料 400千円  
 $200円 \times 2,000件 = 400,000円$

※運営経費（コンビニ委託手数料、コンビニ交付システム保守委託料、証明書交付センター運営負担金）は、特別交付税措置（令和2～4年度）の対象（措置率1/2）。

ふるさとづくり基金繰入金 751千円

## 令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	尾張北部権利擁護支援センター運営事業			担当課	福祉課	
事業実施期間	平成30年度～年度	款	3	項	1	目	6	
令和2年度		令和元年度			平成30年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
4,217千円	4,217千円	3,723千円			4,391千円			
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
27,393千円			22,153					5,240

### ○事業の目的・効果

小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町の2市2町共同で「尾張北部権利擁護支援センター」を運営し、認知症高齢者、知的障がいや精神障がいのある方の成年後見制度の利用支援や権利擁護支援に関する相談事業等を行うとともに、2市2町共同による「成年後見制度利用促進計画」を令和2年度から3年度の2か年で策定する。

### ○事業の内容

実施主体：尾張北部地域2市2町（小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町）

実施方法：特定非営利活動法人 尾張北部権利擁護支援センター（経費は、関係市町が人口割等で按分した額を負担）

実施場所：小牧市小牧五丁目407番地（小牧市総合福祉施設ふれあいセンター内）

対象者 関係市町に住所を有する者及び現に居住する者

事業内容

- (1) 権利擁護支援に関する相談、利用支援及び情報提供
- (2) 後見開始の審判の請求、及び審判の取消しの請求の手続き支援
- (3) 市長が行う審判の請求に必要な支援
- (4) 権利擁護支援の広報事業及び啓発事業並びに研修、講習等による普及事業
- (5) 成年後見制度利用促進計画策定に係る業務
- (6) その他必要な事業

令和3年度と令和4年度の2か年は、岩倉市が幹事市となり、委託先である尾張北部権利擁護支援センターと委託契約を結ぶ。よって、本市が小牧市、大口町、扶桑町の負担金を委託先へまとめて委託料として支払う。

### ○積算根拠

#### 【歳出】

尾張北部権利擁護支援センター運営委託料 27,393千円

尾張北部権利擁護支援センター運営事業委託料 24,679,000円

負担額：岩倉市4,721千円、小牧市13,679千円、大口町2,684千円、扶桑町3,595千円

成年後見制度利用促進計画策定業支援業務委託料 2,714,000円

負担額：岩倉市519千円、小牧市1,505千円、大口町295千円、扶桑町395千円

#### 【歳入】

尾張北部権利擁護支援センター運営費負担金 22,153千円

尾張北部権利擁護支援センター運営費負担金 19,958,000円

成年後見制度利用促進計画策定負担金 2,195,000円

令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	人間ドック費用助成事業			担当課	市民窓口課	
事業実施期間	令和3年度～年度	款	3	項	1	目	10	
令和2年度		令和元年度			平成30年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
千円	千円	千円			千円			
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
5,714千円							4,118	1,596

○事業の目的・効果

後期高齢者の健診機会を確保することで、健康管理の充実を図り、病気の危険因子の早期発見とその発症や進行を防止するため、令和3年度から人間ドック費用を助成する制度を実施する。

○事業の内容

- ・対象者 後期高齢者医療加入者かつ保険料の滞納がない人
- ・助成金額 10,000円
- ・健診項目 (国民健康保険の人間ドック費用助成事業のAコースと同じ項目)  
身長、体重、腹囲、BMI、視力、身体診察、血圧測定、肝機能検査、血中脂質検査、  
血糖検査、尿検査、心電図検査、便潜血検査、胸部X線検査、血清クレアチニン検査
- ・助成方法
  - (1) 検査費用全額を医療機関へ支払う。
  - (2) 検査終了後に検査結果(写)と領収書(写)を市民窓口課へ提出する(郵送可)。
  - (3) 指定の口座へ助成金が振り込まれる。
- ・助成対象となる医療機関 市内12医療機関

○積算根拠

【歳出】

通信運搬費 93千円  
 $84円 \times 550通 \times 2回 = 92,400円$   
 健康診査データ管理業務委託料 121千円  
 $220円 \times 550件 = 121,000円$   
 人間ドック費用助成金 5,500千円  
 $10,000円 \times 550人 = 5,500,000円$

【歳入】

後期高齢者医療広域連合受託事業収入 4,118千円  
 $7,489円 \times 550人 = 4,118,000円$

令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	私立保育園整備費補助事業			担当課	子育て支援課
事業実施期間	令和3年度	款	3	項	2	目	2
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
64,496千円	57,330						7,166

○事業の目的・効果

本市の3歳未満児の保育需要は、依然として高く受け皿に余裕のない状況である。さらに、政府は「女性就業率80%を目指す」としていることから、今後もさらに需要が高まる傾向にあるため、私立保育園の定員増加のための園舎増築の費用を補助することで、0歳児から2歳児の保育需要の受け皿を拡充する。

○事業の内容

私立こどもの森保育園は、平成27年度に開設され、現在は0歳児から2歳児までの定員30名であるが、定員を60名まで増加させるための費用の一部を補助する。

○積算根拠

【歳出】

保育所整備費補助金 64,496千円  
 (補助基準額81,900,000円+設計料加算4,095,000円) × 3/4 = 64,496,000円

【歳入】

保育所等整備交付金 57,330千円  
 (補助基準額81,900,000円+設計料加算4,095,000円) × 2/3 = 57,330,000円



令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	80歳節目歯科健康診査事業			担当課	健康課	
事業実施期間	令和3年度～年度	款	4	項	1	目	2	
令和2年度		令和元年度			平成30年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
千円	千円	千円			千円			
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
344千円							101	243

○事業の目的・効果

歯や歯肉の状態や口腔内の衛生状態の問題や口腔機能の低下をスクリーニングし、詳しい検査や治療につなげることで、不自由なく食べるためにしっかり噛むことができる口腔機能の維持・向上を図るとともに、誤嚥性肺炎等の全身疾患の予防等することを目的とする。

○事業の内容

対象：80歳になる人 560人

昭和16年4月1日から昭和17年3月31日生まれ

内容：市内歯科医療機関（尾北歯科医師会 岩倉地区会）において歯科健康診査を実施する。

歯牙・歯周診査、口腔機能検査、相談、保健指導、歯冠（上下顎前唇側）クリーニング

周知方法：受診券を対象者に郵送。

○積算根拠

【歳出】

通信運搬費 41千円

個別通知（受診券送付用） 73円×560件=40,880円

歯科健康診査委託料 303千円

5,050円×60人=303,000円

対象者560人に対し約10%の受診を見込む。

【歳入】

後期高齢者医療制度歯科健康診査補助金 101千円

303,000円×1/3=101,000円

令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	新型コロナウイルスワクチン接種事業			担当課	健康課
事業実施期間	令和3年度	款	4	項	1	目	2
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他
150,778千円	150,778						

○事業の目的・効果

予防接種法が一部改正され令和2年12月9日に施行されたことに伴い、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について予防接種法の臨時接種に関する特例を設けて厚生労働大臣の指示のもと、都道府県の協力により、市町村において予防接種を実施する。令和3年度は、16歳以上65歳未満に順次個別通知を送付するとともに、新型コロナウイルスワクチンの供給状況により個別接種及び集団接種を実施し、重症化予防等を図る。

○事業の内容

接種等については、重症化リスクの大きさ等を踏まえ、国の優先順位に従い実施。

○接種優先順位

- ① 医療従事者等…令和3年2月頃から接種開始予定（個別通知は不要）
- ② 高齢者（65歳以上）…令和3年3月下旬に個別通知発送予定、4月から接種開始予定
- ③ 65歳未満で基礎疾患を有する人、高齢者施設等の従事者…令和3年4月以降順次個別通知
- ④ 65歳未満で上記及び医療従事者等以外…令和3年4月以降順次個別通知

\* ワクチンの承認、供給時期により接種開始時期は変動する。

○積算根拠 人口48,100人（16歳未満6,424人、65歳以上12,700人）、接種率60%

【歳出】

医師謝礼 7,282千円

$30,090 \text{円} \times (2 \text{時間} \times 5 \text{人} \times 22 \text{コマ} + 1 \text{時間} \times 1 \text{人} \times 22 \text{コマ}) = 7,281,780 \text{円}$

消耗品費 700千円

郵送料 2,082千円

$73 \text{円} \times 28,520 \text{人} = 2,081,960 \text{円}$ （16歳以上65歳未満）

審査支払事務手数料 4,452千円

$300 \text{円} \times 7,419 \text{人} \times 2 \text{回} = 4,451,400 \text{円}$ （市外接種率を3割と仮定）

予防接種委託料 92,547千円

$2,277 \text{円} \times 20,322 \text{人} \times 2 \text{回} = 92,546,388 \text{円}$

集団接種業務委託料 10,460千円

コールセンター業務委託料 23,942千円

接種券作成業務等委託料 4,423千円

地域健康支援システム入力委託料 4,890千円

【歳入】

新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金 102,465千円（補助率10/10）

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業国庫補助金 48,313千円（補助率10/10）

## 令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	環境基本計画策定事業			担当課	環境保全課
事業実施期間	令和3年度～4年度	款	4	項	1	目	5
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
<b>令和3年度 予算額</b>	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
4,294千円				2,000			2,294

### ○事業の目的・効果

環境基本計画、愛知県環境基本計画、岩倉市総合計画等の上位計画を踏まえ、現在の市の各事業との整合性を図り、令和14年度を目標とした、市の環境の保全及び創造に関する目標を達成するために策定する。

### ○事業の内容

岩倉市環境基本条例（平成24年岩倉市条例第4号）第13条に基づき平成25年3月に策定した「岩倉市環境基本計画」の計画期間が令和5年3月に終了することから、次期計画を策定する。市民参加条例に基づき、住民の意見を反映させる。

#### 令和3年度

- ・現行計画の進捗評価・課題の整理・各課ヒアリング
- ・作業部会（内部会議）の開催（3回開催）
- ・検討委員会（2回開催）
- ・市民・民間事業所アンケート実施
- ・施策検討（体系、各役割分担、重点施策、取組）と課題の抽出

#### 令和4年度

- ・作業部会（内部会議）の開催（3回開催）
- ・検討委員会（4回開催）
- ・計画素案の作成
- ・パブリックコメントの実施
- ・最終案取りまとめ作業・最終案作成
- ・基本計画書、概要版の編集データ作成

#### <改定内容>

- ・地球温暖化対策実行計画・区域施策編の策定（環境基本計画内）
- ・生物多様性地域戦略の策定（環境基本計画内）
- ・SDGs 施策の関係整理
- ・令和2年度中に改定予定の岩倉市総合計画との整合性
- ・令和5年3月策定

## ○積算根拠

### 【歳出】

環境基本計画検討委員会委員報酬 180 千円  
委員（識見者） 20,000 円× 2 人×2 回= 80,000 円  
委員 5,000 円×10 人×2 回=100,000 円  
環境基本計画策定支援業務委託料 4,114 千円  
債務負担行為 令和4年度 3,399 千円

### 【歳入】

ふるさとづくり基金繰入金 2,000 千円

## 令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	シティプロモーション事業(市制50周年記念映像作成)			担当課	商工農政課	
事業実施期間	平成28年度～年度	款	6	項	1	目	1	
令和2年度		令和元年度			平成30年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
2,632千円	2,632千円	5,000千円			15,000千円			
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
5,368千円				5,368				

### ○事業の目的・効果

これまで「い〜わくん」を活用した市外へのPR等を実施してきたが、平成28年12月の市制45周年を機に市内外にイメージ調査やワークショップを行いながら、市の抱える課題、プロモーションの方向性を明確にするとともに、シンボルメッセージとブランドロゴの発表を行った。その後、市民から募った「いわくらしやすい109の理由」をもとに、その魅力を市外へ発信するため、名古屋駅前においてポスタージャックやデジタルサイネージ(電子広告)を行ってきた。令和元年度には市PR用の動画作成や「いわくらしやすい」サウンドロゴの制作と、それを活用した市民参加型のラジオCMの収録、民間FM局による放送などを実施した。

令和3年12月に市制50周年を迎えることから、令和2年度からの2か年計画で、市民参加による50周年記念映像を制作し、式典を始め市内外に向けて広く発信することで、市民が一体となり50周年を祝う機運を高めるとともに、将来に向けた本市に対する愛着や誇りの醸成を図る。

### ○事業の内容

五条川を舞台に子どもからお年寄りまで、様々な世代の市民が、個人や団体ごとに横断幕、ダンス、演奏など、それぞれに趣向を凝らしたストーリー性のある50周年をお祝いする演出を、五条川の橋の上や堤防、川沿いの休憩所など様々な場所から見せて、ひとつながりのメッセージとし、その様子を撮影することで準備段階から市民一体となつてつくる記念映像とする。

制作は2か年計画とし、令和2年度は準備期間として、企画調整や参加者の募集、ロケハン撮影などを行い、令和3年3月下旬から4月上旬の本番撮影に向けて準備を進める。令和3年度は、撮影した動画を編集した上で、50周年記念式典で上映するとともに、制作後も映像を用いてマスメディアを巻き込んだプロモート活動を行い、実施後のマスメディア掲載数など効果検証も併せて取り組む。

令和2年度 動画制作(企画費、制作費) 2,632,000円

令和3年度 動画制作(制作費、編集費)、PR(メディアリリース) 5,368,000円

### ○積算根拠

#### 【歳出】

市制50周年記念映像作成委託料 5,368千円

#### 【歳入】

ふるさとづくり基金繰入金 5,368千円

## 令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	地域産業活性化支援事業			担当課	商工農政課
事業実施期間	平成27年度～年度	款	6	項	1	目	2
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
3,540千円	3,540千円	4,798千円			4,431千円		
<b>令和3年度 予算額</b>	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
3,540千円				2,000			1,540

### ○事業の目的・効果

中小企業・小規模企業を中心とした地元企業の支援を行うとともに、地域産業の活性化と発展に寄与するため、市・商工会・金融機関等が連携して、事業者の相談機会の確保と起業を含めた支援機能の強化を図ることを目的とする。

### ○事業の内容

平成29年2月に岩倉市商工会内に開設した「ビジネスサポートセンター」への運営支援を通して事業者支援を行うとともに、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけた、市、商工会、市内金融機関等を構成メンバーとする「岩倉市地域産業活性化推進協議会」で情報共有や意見交換をしながら、地域産業活性化に資する施策を包括的に実施していく。

また、岩倉市中小企業・小規模企業振興基本条例の推進に向けて事業者や関係団体等との意見交換の場として車座会議を開催する。

### ○積算根拠

#### 【歳出】

地域産業活性化支援事業委託料 1,000千円  
 (キャリア教育推進、創業・事業承継支援 等)  
 ビジネスサポートセンター運営事業費補助金 1,000千円  
 (週3日 午後1時～4時、1枠あたり1時間、予約制)  
 人件費及び研修費 1,000,000円  
 岩倉市地域産業活性化推進協議会負担金 1,500千円  
 講師謝礼 20千円  
 車座会議(中小企業・小規模企業振興基本条例)謝礼 20,000円  
 消耗品費 20千円

#### 【歳入】

ふるさとづくり基金繰入金 2,000千円

令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	夏まつり市民盆おどり事業			担当課	商工農政課
事業実施期間	年度～ 年度	款	6	項	1	目	4
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
0千円	0千円	3,644千円			3,572千円		
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
4,700千円				700			4,000

○事業の目的・効果

各地区で催す夏祭り、盆おどりを締めくくるイベントとして全市的に開催し、まちの賑わいの創出と市民の交流を図る。

○事業の内容

令和3年度は、8月20日(金)、21日(土)の2日間総合体育文化センター駐車場で開催予定。会場の中央にやぐらを組み、事前に申込のあった団体が、壇上で踊りを披露する。一般参加者は、やぐらを取り囲み、曲に合わせて一緒に踊りを楽しむ。会場内では、イルミネーションバージョンのミニSLや、軽トラ夜市がまつりの雰囲気盛り上げる。

また、市制50周年記念事業として、岩倉総合高等学校の協力のもと、プロジェクションマッピングを活用した打ち上げ花火の映像演出や岩倉市ゆかりの歌手が出演予定。

○積算根拠

【歳出】

- 夏まつり市民盆おどり委託料 4,700千円
- やぐら、音響設備等一式 1,100,000円
- 電気設備設営費一式 707,000円
- 場内施設費 1,053,000円
- 警備費 702,000円
- ポスター制作費 94,000円
- 市制50周年記念イベント費用 700,000円
  - ・打ち上げ花火映像演出(プロジェクションマッピング) 600,000円
  - ・岩倉市出身歌手の生歌 100,000円
- 新型コロナウイルス感染症対策費 100,000円(手指消毒液、フェイスシールド等)
- その他 244,000円

【歳入】

- ふるさとづくり基金繰入金 700千円

令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	五条川桜並木保全事業			担当課	商工農政課
事業実施期間	年度～ 年度	款	6	項	1	目	4
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
9,583千円	9,583千円	5,452千円			18,675千円		
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
10,784千円				10,784			

○事業の目的・効果

本市の貴重な資源であり、市民の誇りでもある五条川の桜並木を適切に管理する。

○事業の内容

日本の桜名所100選に選ばれている五条川の桜を守るため、道路や民地等への高所の支障枝や枯れ枝など計画的に剪定するほか、強風による倒木処理や腐朽した太枝の剪定、過密状態にある箇所の間引き伐採を行う。また、老朽化し倒木等で、河川を損傷する危険性のある桜の植え替えを実施する。

○積算根拠

【歳出】

桜維持管理委託料 10,784千円

枝剪定 4,667,520円

計画的に区間を定め、道路や民地等への高所の支障枝や枯れ枝などの剪定を実施する。

桜伐採 970,805円

五条川桜並木保存会と現場を確認したうえで、過密状態にある箇所の桜の間引き伐採をする。

枯枝剪定 2,000,000円

適宜枯れ枝を剪定する。

桜植栽 3,144,900円

五条川桜並木保存会と現場を確認したうえで、既存の桜の伐根、伐採等を行い、ジンダイアゲボノ5本に植え替える。

【歳入】

ふるさとづくり基金繰入金 10,784千円



令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	企業庁土地開発関連事業			担当課	企業立地推進室
事業実施期間	平成30年度～年度	款	6	項	1	目	6
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
77,180千円	72,119千円	11,344千円			7,204千円		
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他
52,173千円							52,173

○事業の目的・効果

本市と企業庁の共同で実施している川井野寄地区での企業誘致事業の進捗を図るため、事業に必要な配水管布設工事を実施する。市の要望により変更した調整池造成工事等を企業庁に実施してもらう。

○事業の内容

誘致する企業の必要水量に対応するため、川井町地内にある既設配水管から事業区域までの配水管布設工事の一部を実施する。調整池の擁壁を市の要望により多自然型ブロックに変更しての造成工事及び埋蔵文化財発掘調査で発生した残土埋戻を企業庁に実施してもらう。

○積算根拠

【歳出】

配水管布設工事業務負担金 39,629千円  
 39,629,000円 (L=約470m)  
 埋蔵文化財発掘調査残土埋戻負担金 8,426千円  
 調整池造成工事負担金 4,118千円

令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	名鉄石仏駅等整備事業			担当課	都市整備課
事業実施期間	平30年度～令3年度	款	7	項	2	目	2
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
120,803千円	120,803千円	56,000千円			97,469千円		
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
34,614千円	7,600					24,000	3,014

○事業の目的・効果

国は、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）で1日平均利用者が3,000人以上の駅については、令和2年度までのバリアフリー化を目指しており、4,000人/日程度の乗降客を有している名鉄犬山線の石仏駅は令和2年度に東側改札口の設置及びバリアフリー化を実施し、名鉄石仏駅の利便性と安全性は飛躍的に向上した。

さらに、駅東側へ公衆便所を設置し、本市の総合的な暮らしやすさの向上を図ることを目的としている。

○事業の内容

駅東側へ公衆便所を整備し、併せて花壇の整備及びインターロッキング舗装等を行い、秋頃利用開始をする予定。

○積算根拠

【歳出】

- 完了検査申請手数料 25千円
- 上水道開栓等手数料 1千円
- 浄化槽法定検査手数料 15千円
- 公衆便所設置等工事 34,408千円
  - 公衆便所 31,641,000円
  - 花壇・インターロッキング舗装等 2,767,000円
- 上水道給水負担金 165千円

【歳入】

- 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業） 7,600千円
  - 24,000,000円（基本額）×4/10（補助率）×0.8（内示見込）≒7,600,000円
- 土木債 名鉄石仏駅等整備事業 24,000千円
  - 補助分 11,400,000円（起債対象事業費）×90%≒10,200,000円
  - 単独分 15,408,000円（起債対象事業費）×90%≒13,800,000円

## 令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	桜通線街路改良事業			担当課	都市整備課
事業実施期間	平24年度～令8年度	款	7	項	4	目	2
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
45,194千円	45,194千円	54,061千円			68,917千円		
<b>令和3年度 予算額</b>	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
66,437千円	16,600					44,800	5,037

### ○事業の目的・効果

この路線は、岩倉駅東駅前広場を起点とし市道乙豊田岩倉線を終点とする延長550mの都市計画道路であり、途中、真光寺橋南で交差する五条川部分は橋梁工事となる。整備を実施しており、用地取得率は令和2年度10月末時点で55.91%（1,148.28㎡）となっている。

また、事業の推進に当たっては地元権利者組織である岩倉駅東地区再生協議会が岩倉駅東地区のまちづくりを検討する中で当該路線及び都市計画道路江南岩倉線の早期整備を求めており、再生協議会との協調も事業進捗を図る上では不可欠である。

### ○事業の内容

引き続き用地買収及び物件移転補償並びに令和3年度以降に取得を予定する物件調査を行う。

### ○積算根拠

#### 【歳出】

物件調査業務委託料 6,169千円  
 物件調査業務 一式 6,169,000円  
 土地取得費 24,929千円  
 土地取得費 24,928,578円（2名4筆 168.16㎡）  
 物件移転補償費 35,339千円  
 支障物件移転補償費 35,338,342円（3名5件）

#### 【歳入】

防災・安全交付金 16,600千円  
 $66,435,920 \text{円 (基本額)} \times 5/10 \text{ (補助率)} \times 0.5 \text{ (内示見込)} \doteq 16,600,000 \text{円}$   
 土木債 桜通線街路改良事業 44,800千円  
 補助分 16,600,000円（起債対象事業費） $\times 90\% \doteq 14,900,000 \text{円}$   
 単独分 33,235,920円（起債対象事業費） $\times 90\% \doteq 29,900,000 \text{円}$

## 令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	石仏公園整備事業			担当課	都市整備課
事業実施期間	平27年度～令6年度	款	7	項	4	目	4
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
87,881千円	87,881千円	81,511千円			88,861千円		
<b>令和3年度 予算額</b>	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
45,380千円	8,100			5,937	26,900		4,443

### ○事業の目的・効果

本市では、地域住民と協働による公園整備を進め、現在19か所、計5.22haの都市公園の整備を行ってきたが、市民1人当たりの面積は1.09㎡と平成30年度末の愛知県内平均7.79㎡を大きく下回っており、将来に向けた計画的な公園整備が必要となっている。

そのため、本公園の整備は、身近なレクリエーションの場として、また、市民一人当たりの都市公園面積の増加につながるだけでなく、避難地としての活用も可能とし、市域全体の防災力の強化など安全性の向上を図るものである。

### ○事業の内容

引き続き用地買収及び物件移転補償を行う。

### ○積算根拠

#### 【歳出】

用地管理委託料 4,466千円  
 用地管理委託料 一式 4,465,250円  
 土地取得費 40,914千円  
 土地取得費 40,913,644円（2名3筆 1,070.38㎡）

#### 【歳入】

防災・安全交付金 8,100千円  
 40,913,644円（基本額）×1/3（補助率）×0.6（内示見込）≒8,100,000円  
 土木債 石仏公園整備事業 26,900千円  
 補助分 16,200,000円（起債対象事業費）×90%≒14,500,000円  
 単独分 16,613,644円（起債対象事業費）×75%≒12,400,000円  
 ふるさとづくり基金繰入金 5,937千円

令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	夢さくら公園整備事業			担当課	都市整備課
事業実施期間	平30年度～令3年度	款	7	項	4	目	4
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
81,163千円	81,163千円	7,810千円			2,582千円		
令和3年度 予算額	財源内訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
5,764千円		3,000					2,764

○事業の目的・効果

五条川沿いの旧学校給食センター跡地を公園として整備することで、五条川の魅力を感じられる憩いの場となり、近隣住民にとどまらず、五条川をウォーキングする人たちの日常的な健康づくりの場となる。

○事業の内容

市民参加により公園内の芝張りを行う。

○積算根拠

【歳出】

芝張補助業務委託料 4,818千円

芝張補助業務（土壌改良、芝目地詰め、肥料散布等） 4,818,000円

原材料費 946千円

芝等 1,130㎡ 945,516円

【歳入】

あいち森と緑づくり都市緑化推進事業補助金 3,000千円

県民参加緑づくり事業 3,000,000円

令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	消防指令センター共同運用事業			担当課	総務課
事業実施期間	平成28年度～年度	款	8	項	1	目	1
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
12,837千円	12,502千円	13,082千円			12,151千円		
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他
42,823千円							42,823

○事業の目的・効果

平成28年から開始の近隣消防本部と共同運用する、尾張中北消防指令センターを維持する。

○事業の内容

尾張中北消防指令センターの設備の機能維持のため、無線設備を除く指令設備を更新する。

○積算根拠

【歳出】

消防指令センター共同運用事業負担金 42,823千円

消耗品費・光熱水費・指令台設備保守管理委託料等 42,805,455円

うち高機能消防指令設備改修委託料 31,962,623円

無線設備電気使用料 17,148円

令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計		事業	消防庁舎施設改良事業			担当課	総務課
事業実施期間	令和3年度～年度		款	8	項	1	目	1
令和2年度			令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額				決算額		
千円	千円	千円				千円		
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
935千円								935

○事業の目的・効果

平成30年4月と令和2年9月に採用された女性消防吏員について、交替勤務が可能となるよう施設を改修し、女性の活躍の場を広げる。

○事業の内容

場所：消防庁舎2階仮眠室

内容：9室の仮眠室のうち1室を女性専用とし、仮眠室、更衣室、浴室、洗面室を設ける。

○積算根拠

【歳出】

仮眠室改修工事設計委託料 935千円

## 令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	土曜学習等事業			担当課	学校教育課
事業実施期間	年度～ 年度	款	9	項	1	目	2
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
470千円	470千円	338千円			343千円		
<b>令和3年度 予算額</b>	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
551千円							551

### ○事業の目的・効果

両中学校においては、これまでも、土曜日の午前中に生徒の学力向上を図ること、学習の場を提供することを目的に、講師の先生や教員を目指す大学生等の指導により生徒が自主的に参加する学習会を開催してきた。生徒や生徒の保護者などから要望があり、新たに中間や期末テスト週間中の授業後にもトワイライト学習として、生徒が自主的に学習する場を提供する。

自主的に参加する学習の場であるため、子どもたちの学びたいという気持ちに応えることによって、子どもたちの向上心を養い、学力向上が期待できる。

### ○事業の内容

学校の行事等のない土曜日の午前中と中間や期末テスト週間中の夕方、講師の先生や教員を目指す大学生等の指導により、両中学校において自主学習の場を提供する。

トワイライト学習は、中間や期末テスト週間中の3日間、授業後の1時間程度、各学年1人の指導者を配置し開催する。なお、南部中学校は、1学期の中間テストがないため年間4回とする。

### ○積算根拠

#### 【歳出】

土曜学習等指導員謝礼 551千円

岩倉中学校

土曜学習 2,500円×47日×2人=235,000円

トワイライト学習 1,000円×3日×5回×3人=45,000円

南部中学校

土曜学習 2,500円×47日×2人=235,000円

トワイライト学習 1,000円×3日×4回×3人=36,000円



## 令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	岩倉北小学校屋内運動場等複合施設建設事業			担当課	学校教育課
事業実施期間	令和元年度～4年度	款	9	項	2	目	1
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
968,677千円	968,677千円	13,420千円			千円		
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
60,483千円	666	666			50,869		8,282

### ○事業の目的・効果

岩倉北小学校の敷地内に設置されている市立体育館は、昭和40年5月に開館されており、建設後50年以上が経過し、老朽化が進んでいる。そのため、既存の市立体育館を廃止し、新たに岩倉北小学校の屋内運動場として整備する。また、屋内運動場に放課後児童クラブ施設を併設し複合化を図る。

これにより、放課後児童クラブ施設が学校の中に配置されることから、安全面の向上が見込めるとともに、老朽化した施設から新しい施設になるため、子どもたちにより良い環境を提供することができる。

### ○事業の内容

#### 【スケジュール】

- 令和元年度：基本設計  
既存プール取壊し工事实施設計
- 令和2年度：実施設計  
既存プール取壊し工事
- 令和2～3年度：受変電設備・受水槽移設工事  
屋内運動場等複合施設建設工事  
西館取壊し等工事  
外構工事（一部）
- 令和4年度：市立体育館取壊し工事  
外構工事

### ○積算根拠

#### 【歳出】

- 岩倉北小学校受変電設備・受水槽等移設工事監理業務委託料 4,136千円
- 受変電設備・受水槽移設工事監理業務 2,640,000円
- 夜間照明分電盤移設工事監理業務 1,496,000円
- (継続費) 令和2年度：0円 令和3年度：4,136,000円 合計4,136,000円
- 岩倉北小学校受変電設備・受水槽等移設工事 38,610千円
- 受変電設備・受水槽移設工事 31,350,000円
- 夜間照明分電盤移設工事 7,260,000円
- (継続費) 令和2年度：25,740,000円 令和3年度：38,610,000円 合計64,350,000円

岩倉北小学校屋内運動場用備品 9,416 千円  
岩倉北小学校屋内運動場用備品 一式 9,415,978 円  
岩倉北小学校放課後児童クラブ用備品 7,968 千円  
放課後児童クラブ用備品 一式 7,967,587 円  
消耗品費 353 千円  
放課後児童クラブ施設用消耗品 一式 352,802 円

**【歳入】**

子ども・子育て支援交付金（国庫） 666 千円  
2,000,000 円（補助基準額） $\times 1/3 \doteq 666,000$  円  
地域子ども・子育て支援事業費補助金（県費） 666 千円  
2,000,000 円（補助基準額） $\times 1/3 \doteq 666,000$  円  
公共施設整備基金繰入金 40,000 千円  
ふるさとづくり基金繰入金 10,869 千円

## 令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	水泳指導支援委託事業			担当課	学校教育課
事業実施期間	令和元年度～年度	款	9	項	2	目	2
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
0千円	0千円	260千円			千円		
<b>令和3年度 予算額</b>	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他
6,838千円							6,838

### ○事業の目的・効果

屋内運動場等複合施設の建設のためプールを取壊した岩倉北小学校や、使用するためには大規模なプール改修が必要になる岩倉東小学校の水泳授業を民間の温水プールを利用し実施する。

このことにより、天候に左右されず授業の実施が可能となるとともに、教職員に加えて複数の指導者が子どもたちに関わることで、よりきめ細かな指導を行うことができ、泳力の向上が期待できる。

なお、令和元年度に検討を行った小中学校プールのあり方では、小学校については、大規模改修時までは各学校のプールを使用し、その後は、順次、民間プール施設の活用への切り替えを基本に検討することとし、中学校については、部活動等に考慮し、計画的な修繕や場合によっては改築しプールを維持していく方針としている。

### ○事業の内容

通常、年度の水泳の授業時間は10単位時間（1単位時間45分授業）必要であるが、1単位時間中には、着替え等を含めるため30分程度の指導になっている。そのため、2単位時間分（30分＋30分）を連続で実施することで実際の水泳指導を1回60分、着替え等を含めた実施時間を120分とし、1人当たり5回、温水プールを利用する。

なお、温水プールまでの送迎については、委託事業者の送迎車両を利用するものとする。

#### 【実施時間例】

時限	1	放課	2	放課
時間	8：45～9：30	9：30～9：40	9：40～10：25	10：25～10：45
実施時間	8：45～10：45（うち指導時間60分）			

### ○積算根拠

#### 【歳出】

水泳指導支援業務委託料 6,838千円

岩倉北小学校 770円/単位時間×2単位時間×5回×733人＝5,644,100円

※1年生から6年生 733人で積算（送迎車両利用含む。）

岩倉東小学校 770円/単位時間×2単位時間×5回×155人＝1,193,500円

※1年生から6年生 155人で積算（送迎車両利用含む。）

令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	図書館・市民プラザ駐車場改修事業			担当課	生涯学習課
事業実施期間	令和3年度	款	9	項	4	目	2
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
3,541千円							3,541

○事業の目的・効果

図書館・市民プラザ駐車場を改修することにより、利用者の利便性の向上を図る。

○事業の内容

図書館・市民プラザ駐車場を増設する。増設に伴い、フェンス及び案内看板を設置し、思いやりスペースを1台分増設する。現在の30台分から60台分の駐車を可能とする。

- ・南側駐車場：思いやりスペースを増設する。  
 <駐車台数の増減> △2台 (13台→11台) ※うち思いやりスペース +1台 (1台→2台)
- ・北側駐車場：駐車場を増設 (現在 555㎡・154.44坪、増設後 1,198㎡・362.41坪) し、フェンス及び案内看板を設置する。  
 <駐車台数の増減> +32台 (17台→49台)  
 合計 60台 (うち2台は思いやりスペース)

○積算根拠

【歳出】

図書館・市民プラザ駐車場改修工事 3,541千円

図書館・市民プラザ駐車場改修工事 一式 3,540,900円

## 令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	一般会計	事業	下田南遺跡発掘調査事業			担当課	生涯学習課
事業実施期間	令和元年度～4年度	款	9	項	4	目	4
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
268,179千円	268,059千円	171,688千円			千円		
<b>令和3年度 予算額</b>	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他
75,097千円			37,548	12,509			25,040

### ○事業の目的・効果

企業庁による工業系土地開発事業予定区域内の一部が埋蔵文化財の試掘調査の結果、下田南遺跡として指定され、造成工事を行うために必要な発掘調査を令和元年度から4年間で実施する。

### ○事業の内容

開発予定区域内の下田南遺跡として指定された区域において埋蔵文化財の発掘調査を実施する。令和3年度は、出土物の整理作業、報告書作成等を行う。

### ○積算根拠

#### 【歳出】

下田南遺跡発掘調査業務委託料 75,097千円  
(第3期分) 75,097,000円

#### 【歳入】

下田南遺跡発掘調査業務委託費負担金 37,548千円  
(第3期分) 75,097,000円×1/2=37,548,500円  
ふるさとづくり基金繰入金 12,509千円

#### 【参考】

下田南遺跡発掘調査業務

- ・受託者 株式会社アーキジオ中日本支店
- ・履行期間 令和元年6月25日から令和5年3月21日まで(1,366日間)
- ・契約金額 546,700,000円

(契約金額内訳及び業務内容)

令和元年度 171,688,000円 (発掘調査、現場事務所等設置、資材搬入等)  
令和2年度 268,059,000円 (発掘調査、現場事務所等撤去)  
令和3年度 75,097,000円 (出土物の整理作業、報告書作成等)  
令和4年度 31,856,000円 (出土物の整理作業、報告書作成等)

令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	上水道事業会計	事業	「(仮称)いわくらしや水」製造事業			担当課	上下水道課
事業実施期間	令和3年度～年度	款	1	項	1	目	4
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
2,356千円						2,356	

○事業の目的・効果

<目的>

本市では、地下水を汲み上げて水を供給する施設「水源」を保有しており、この水源から一部の地域に水を供給している。

地下水には、豊富なミネラル成分が含まれており、そのおいしさを知ってもらうため、市制50周年記念事業に合わせて岩倉市のおいしい水「(仮称)いわくらしや水」を製造し販売する。

この水は、非加熱による除菌処理を実施するため、水本来のおいしさが味わえるナチュラルウォーターとして長期間(5年間)の保存が可能であり、災害時の備蓄用飲料水としての役割も担う。

<効果>

- ・多くの人に地元の水のおいしさを知ってもらうことができる。
- ・市民が防災意識を持って飲料水を備蓄する良い機会となる。

○事業の内容

製造業務は専門の業者へ委託する。

業者によって採水した水源の水を工場へ運搬後、非加熱除菌処理しペットボトルへの充填作業を実施する。

製造した水をオリジナル水として販売する。

- ①ペットボトルは、地球にやさしい植物由来原料を使用し、容量は500mlとする。
- ②ペットボトルには本市のオリジナルラベルを貼り付ける。
- ③販売価格は1本あたり税込み100円とする。
- ④販売は1本からとし、箱入り(12本入り)の販売も可能とする。

○積算根拠

【支出】

オリジナル水製造業務委託料 2,346千円  
 製造費 一式(24,000本) 2,015,200円  
 製品検査 一式 154,000円  
 ラベルデザイン費等 一式 176,000円  
 オリジナル水販売手数料 10千円  
 200本×10か月×5円=10,000円

【収入】

ペットボトル飲料販売収入  
 100円×24,000本=2,400,000円

## 令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	上水道事業会計	事業	漏水調査実施事業			担当課	上下水道課
事業実施期間	令和3年度～5年度	款	1	項	1	目	4
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
<b>令和3年度 予算額</b>	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
3,349千円							3,349

### ○事業の目的・効果

#### <目的>

本市の水道管は、布設後25年から45年を経過しているのが大半を占めていることから、老朽化した水道管からの漏水が増加しており、給水した水量と料金収入のあった水量の比率を示す有収率が下落傾向にある。

本市では、平成21年度に漏水調査を実施してから10年以上が経過していることから、漏水箇所を早期に発見し、その後に迅速な修繕を実施する必要がある。

#### <効果>

- ・調査により判明した漏水箇所を修繕することで有収率の向上が図られる。
- ・水道施設の適切な維持管理が行われ、道路陥没などによる事故防止に繋がる。

### ○事業の内容

3年の実施期間で市内全域（総延長223km）の配水管等について漏水調査業務を委託する。

口径が200ミリ以上の金属管は、仕切弁等に音聴棒を設置し異常音を確認する弁栓音聴調査を実施する。金属管以外の管は、漏水探知機によって音圧の変化を測定する路面音聴調査を実施する。

### ○積算根拠

#### 【支出】

漏水調査業務 3,349千円（3年総額10,043千円）

漏水調査業務 74.34km 3,349,000円

債務負担行為 令和4年度から令和5年度まで

## 令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	上水道事業会計	事業	基幹管路耐震化事業			担当課	上下水道課
事業実施期間	平24年度～令13年度	款	1	項	1	目	1
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
120,000千円	112,224千円	111,587千円			118,319千円		
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
120,000千円							120,000

### ○事業の目的・効果

#### <目的>

地震等災害時においても安心できる水道水を安定的に供給するために、水道施設の耐震化の推進を図ることが急務である。特に、管路については、基幹管路を中心に災害等が発生すると大規模な断水に直結するために、耐震管への更新を図り断水被害を最小限に抑える必要がある。

#### <効果>

老朽管の更新を進めることで、災害発生時においても病院・避難所等の重要施設へ安定的な給水が可能となる。

(平成30年度)	配水基幹管路布設工事	104,219千円
	設計業務	14,100千円
(令和元年度)	配水基幹管路布設工事	106,912千円
	設計業務	4,675千円
(令和2年度)	配水基幹管路布設工事 (R2-1)	38,940千円
	配水基幹管路布設工事 (R2-2)	20,790千円
	配水基幹管路布設工事 (R2-3)	45,311千円
	設計業務	7,183千円

#### <計画>

西ルート	(平成24年度～平成30年度)	: 耐震化率	41.0%
東ルート	(平成31年度～令和5年度)	: 耐震化率	70.7%
中央ルート	(令和6年度～令和13年度)	: 耐震化率	100.0%
※令和元年度耐震化率：42.7%			

### ○事業の内容

平成24年度に策定した管路耐震化計画に基づき、毎年工事を実施する。

令和3年度は令和2年度に行った実施設計を基に、五条川を横断する水管橋の設置工事を実施する。

工事予定箇所：井上町（水管橋）φ350mm 40m

### ○積算根拠

#### 【支出】

基幹管路布設工事	120,000千円
工事費	120,000,000円



## 令和3年度予算に係る新規及び主要事業説明資料

会計名	公共下水道事業会計	事業	五条川右岸公共下水道建設事業			担当課	上下水道課
事業実施期間	年度～ 年度	款	1	項	1	目	1
令和2年度		令和元年度			平成30年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
711,228千円	770,000千円	672,708千円			296,522千円		
令和3年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
292,308千円	28,148	1		30,259		233,900	

### ○事業の目的・効果

公共下水道を整備することにより、側溝、用排水路、河川の水質改善が図られ、快適で住み良いまちになる。また、水環境の浄化により豊かな生態系を取り戻すことができる。

### ○事業の内容

五条川左岸公共下水道事業については、平成12年度に計画区域156.4haの整備が完了し、全区域が供用開始されている。

五条川右岸公共下水道事業については、平成6年度に下水道法事業認可を受け、工事に着手し、平成13年4月1日に一部供用開始した。令和2年4月1日現在の進捗状況は、都市計画決定区域434haの内260.3haを供用開始し、五条川右岸の人口普及率は、59.3%となっている。

五条川右岸整備面積は、平成30年度5.9ha、令和元年度8.9ha、令和2年度8.7ha。今後も、計画的に下水道整備区域を拡大する。

令和3年度は、本町、東町、中野町、神野町地区で10.0haの面整備（開削L=345m、令和2年度3月補正予算と合わせて 開削L=2,440m 推進L=379m）を行う。

### ○積算根拠

#### 【支出】

公共下水道実施設計委託料	60,844千円	(補助対象事業 56,094千円)
管渠布設工事	35,228千円	(補助対象事業)
舗装工事	35,700千円	
取付管設置工事	27,504千円	
公共汚水ます等設置工事	19,860千円	
管更生	3,797千円	
支障物件移転補償	109,375千円	

#### 【収入】

社会資本整備総合交付金（国費）	28,148千円
(委託料 56,094千円×0.5+工事費 35,228千円×0.8) ×1/2 (補助率)	
市町村下水道事業費補助金（県費）	1千円
公共下水道事業債（企業債）	233,900千円
公共下水道事業受益者負担金	30,259千円